

楽しくて力のつく学校

石部小学校 校報 第41号

平成24(2012)年2月17日

いしべっ子

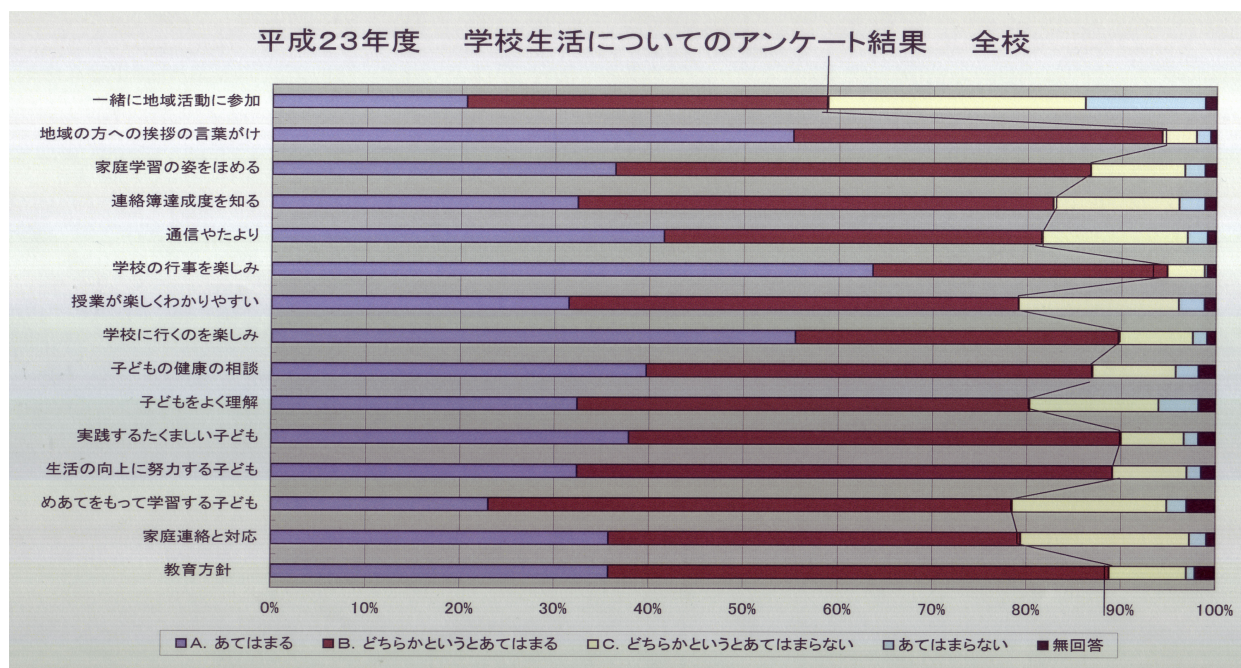
電話: 77-2030

Fax : 77-6733

ホームページ [http://www.edu-konan.jp/i-shibe-el/]

うらん どう判断しましょ

校長 谷口 茂雄



上は本年度の学校評価の「保護者アンケートの結果」です。グラフのでこぼこは、昨年度とあまり変わっていません。ほとんどの項目が、A・B合わせて80%以上ありますから、石部小学校の取組をおおむね好意的に受け止めていただいていると考えることもできます。

しかしながら、標題のように「どう判断しましょ」と悩むのは、ほとんどの項目において、昨年度の結果と比べてA・Bの合計が下回っているのです。しかも有意差(5%以上)と云って、確かに下がっていると言えるくらい違いのある項目が五つもあるのです。次の項目です。

- 学校は、家庭との連絡をきめ細かく行い、適切に対応している。(92.2% → 80.1%)
- 学校の様子や学習内容が、通信やたよりなどでよく分かる。(91.5% → 82.3%)
- 先生は、子どもをよく理解してくれている。(90.3% → 81.8%)
- 子どもは、授業が楽しく分かりやすいと言っている。(86.2% → 80.1%)
- 先生は、子どもの心身の健康について気軽に相談にのってくれる。(93.9% → 88.6%)

<※ 落差が大きい順に並べました。>

下がった原因はどこにあるのでしょうか？ 私の自己評価では、こんなに下がるほど石部小教育の質が低下したとは考えられません。無記名での自由記述の内容も全部資料として、3月の学校評議員会(=学校評価委員会)で検討し、次回3月の校報において検討結果をお知らせします。

「楽しくて力のつく学校」の成果

— だじゃれグランプリで優勝と第3位 —



決勝戦でだじゃれを披露する「くまの一人部屋ズ」
— 湖南市石部中央の石部文化ホール

「D1グランプリ」滋賀で初開催

26組が競う
即興だじゃれ

「お題」をもとに即興でつくっただじゃれのおもしろさを競う「D1だじゃれ」グランプリ滋賀大会は、湖南市石部文化ホールで開かれた。参加者は「あくびをした会社員がクビになり「あくびか」など、ひねりをきかせただじゃれを連発し、会場は笑いに包まれていた。

D1グランプリは平成16

「お題」をもとに即興でつくっただじゃれのおもしろさを競う「D1だじゃれ」グランプリ滋賀大会は、湖南市石部文化ホールで開かれた。参加者は「あくびをした会社員がクビになり「あくびか」など、ひねりをきかせただじゃれを連発し、会場は笑いに包まれていた。

大会は「ナメント方式」で、小学生3人組、大人1人ずつの計26組が参加。2組ずつが、「あくび」のほか、「コト」「菊」など

平成24(2012)年1月23日
＜産経新聞＞

昨年11月20日(日)に行われた予選会では、石部小学校からの出場チームは1勝もできず敗退しました。それからというもの、本大会でリベンジすべく、各学級でだじゃれづくりを練習し、1月18日の学習参観日には「だじゃれグランプリ in石部小」を見ていただきました。(下写真)



選手と一緒に考えている子ども

1月22日の本大会には、決勝を戦った2チームが出場しました。(都合により、優勝チームは代役で出場)。各学校2チームが出場して優勝は石部小、準優勝は大人、3位も石部小。学校ぐるみの取組の成果が出た大会でした。

優勝チームは、東京で行われる全国大会に出場できます。しかし、権利があるだけで旅費は出ません。市教育委員会・PTA・学校応援団・いっく(主催者)から激励金をいただき、本校教職員もカンパし、東京に行けることになりました。ご支援、本当にありがとうございました。

頑張ってます チャレンジ100



1年かけて「折り紙100種類」を達成した子がいます。他の子どもへの励みとするため、多目的教室に展示しています。

「すきすき週間」ご協力お願いします



約1分、

子どもたちをぎゅっと抱きしめてやってください。

それだけで、子どもの心が安定します。「宿題だから、仕方ないか。」のノリで、よろしくお願いします。